

◆第2回大家族ひえだ川駅伝大会に思う 駅伝事業プロモーター - 竹内 亨弘

昨年同様、仲良く楽しく安全に、を合言葉に【第2回大家族ひえだ川駅伝大会】が2月8日（日）高取小学校を発着点とする「稗田川周回コース」で開催されました。今回の大会は参加チーム数が昨年度の47チームを大幅に上回る64チームとなり、大変な盛り上がりの中で準備と開会式を迎えました。開会式には吉岡市長、杉浦県議他、多数のご来賓を迎える中で、高浜中学校陸上部（たかはまジュニア陸上クラブ中学部）の主将、加藤豪君の選手宣誓と審判長の開会宣言により行われました。

しかし、レース途中から降雨が激しくなったため、学校関係者も含めた

エントリーされていたチーム	
園児の部	9チーム
低学年の部	13チーム
高学年の部	15チーム
中学生の部	9チーム
一般の部	18チーム

た実行委員会で協議をした結果、健康と安全を考慮し、以降のレースを中止することに決まりました。楽しみにされていた選手、保護者の皆さまには、本紙によりお詫び申し上げます。

そして、大会の準備、運営、後片付けを、地区の町内会、高取婦人会、い

きいきクラブ、高取小学校他学校関係者や高取FC、高取ファイターズ



市長あいさつ



副市長のスターター

成立した大会の成績は次の通りです	
中学生の部（全9チーム、棄権・失格無）	
順位	チーム名
第1位	俺様神様仏様チーム
第2位	おっさんチーム
第3位	TASUKIチーム

やたかはまジュニア陸上クラブの各団体のご協力をいただき、無事に終わることができました。改めてお礼申し上げます。また、防災食料班が担当した心のこもった温かい豚汁は大変おいしく好評でした。来年度の第3回大会の開催に向け、この駅伝大会を学区の絆づくりと、スポーツに親しみ健康な体づくりを目的として、更に発展させたものになるように検討・準備していくことが必要だと感じています。

◆「大家族ひえだ川駅伝」が大好きです！ アドバイザー 宮崎 喜章



選手宣誓

第2回「大家族ひえだ川駅伝」は、残念ながら開会式直前から降り出した雨の影響で安全・健康面を考慮し途中中止となったものの、前年度より大きく飛躍したなと感じました。

まず、前日の準備においても、第一回大会は大会前日の大雪の影響で日没近くまでかかりましたが、今回はチームワークの良さで前年度の経験を活かしたことにより短時間で準備することができました。

そして、参加チームが前年度より17チーム増加したのは大変驚きました。園児から大人まで幅広い世代が参加を希望し、また、開会式では南中陸上部主将による司会、高中陸上部兼たかは

まジュニア陸上クラブ主将の選手宣誓があり、この大会の目的である「世代の壁を越えたふれあいの場づくり」にふさわしく、とても立派で感激いたしました。

この大会の良い所は、誰でも走れるコース設定されており、比較的参加しやすいと思います。また、子供達は豚汁をととても楽しみにしていました。昔は町内でのマラソン・駅伝大会があったと思います。私も35年位前に町内駅伝大会にランナーとして参加したことがあり、ひえだ川駅伝にスタッフとして参加できて懐かしく不思議な想いです。今大会は途中で中止となり大きな課題も残りましたが、関係するスタッフと力を合わせて来年度も継続できたらいいなと思います。

## ◆心と体をHOTさせた豚汁 食料班 小野 行信

第1回の駅伝で提供した豚汁は大好評で、対応が大変でしたが、今年度はその反省を踏まえ入念に準備をしました。前日の具材調理では、JAあいち高取支店さんのご厚意により調理室を貸していただき、高取まち協食料班担当と高取婦人会および婦人会OBの方々で、大量の食材を次々と手際よく調理しました。大会当日は民生委員の方も加わり、腕によりを掛け、高取まち協駅伝名物の具たくさん豚汁を作りました。

ところが、中学生の部の駅伝が実施されたところで中止となり、前日から準備を頑張っていた皆さんはガッカリ！「たくさん準備した豚汁をどうしよう…」という不安が頭をよぎりました。しかし、雨と寒さで冷えた体に豚汁は大好評でたくさん用意した豚汁はきれいに完食。「やったー！」温かい豚汁は会場の皆さんを笑顔にしました。「おいしかったよ！」「温まったよ！」との声に疲れも忘れ、充実感を味わうことができました。来年の駅伝は晴天の下で走り、大いに盛り上がりましょう！

最後に、豚汁の炊き出しにご協力下さいました多くの方々に感謝申し上げます。今年で2回目の豚汁づくりです。災害発生時にはこの経験を活かし皆さんのお役に立ちたいと思います。



## ◆実行委員として関わってみて

高浜市役所 高取まちづくり協議会特派員 酒井香奈江

事前の実行委員会の会議では、前回の経験から良かった点、困った点を洗い出し、駅伝大会がより良いものになるよう熱心に話し合われました。「誰かがやってくれるだろう・・・」と他人事にするのではなく「自分が責任を持ってやるんだ！」という皆さんの熱い気持ちに答えようと一生懸命お手伝いさせていただきました。この気持ちを大切にして、来年度はもっと素晴らしい駅伝大会にしたいと思います。

## ◆温かい豚汁と皆さんの想いに癒されました

高浜市役所 高取まちづくり協議会特派員 片桐 和

残念ながら悪天候によりプログラムのほとんどが行われませんでしたが、高取婦人会を中心とした食料班の皆様の温かい気持ちがこもった豚汁が参加者の人たちにふるまえたことが幸いでした。この高取地区の宝物である稗田川に関する行事に今後も参加して、人と人とのつながりを大切にしていきたいと考えた一日でした。来年もよろしくお願いします。



## ◆冷たい雨の中で・・・ まち協会長 荒川 昭治

今回は、園児の部から一般の部まで合わせて64チームにエントリーして頂きました。雨の為、開会式会場を変更し、吉岡市長、杉浦県議さんを初め多くの来賓の皆さまから激励の言葉を頂き開会式を実施し、中学生の部をスタートしました。選手の皆さんは雨が降りしきる中、仲間とのより強い絆を作るため懸命に走りタスキを繋いでくれました。感動でした。中学生の皆さんありがとうございました。

しかし、益々雨が強くなった為、役員間で話し合い、大会を中止しました。選手の皆さんや関係者の皆さんに心よりお詫び申し上げます。また、大会の準備から後片付けをしていただいた関係者の皆様には心より厚くお礼申し上げます。この「大家族ひえだ川駅伝大会」が今後も継続して実施できますようご支援ご協力の程宜しくお願い致します。



### 高取まちづくり協議会

事務局：《平日13:30~16:30》  
向山町1丁目214番地4(高取公民館2F)  
TEL/FAX (0566) 55-3894  
電子メール tori-machiky@katch.ne.jp